

札幌市立二条小学校 第 3 学年の実践

ほうこく書を書こう ～『本で調べて、ほうこくしよう』～

学習のねらい

- ・生活の中から調べたいことを決め、必要な事柄について本を読んで調べる。
- ・自分の問いを解決するために必要な本を選び、文章を探すことができる。
- ・書こうとするものの中心を明確にしなが構成を考え、まとまりに分けて書く。

主な学習活動



<第 1 次>自分のテーマを設定し百科事典の使い方を知る。

○自分の嫌い・苦手な食べ物について考えさせる中で、「食べものってすごい！食べもののひみつ」という報告文を書くために調べたいテーマを決める。

○学級ごとに『百科事典早引きクイズ大会』を実施。国語辞典と同じように言葉が並んでいるが、言葉の意味ではなく、事柄について説明していること、索引の使い方・便利さを実感することができた。

<第 2 次>自分のテーマについて実際に調べ学習をする。

○本校図書館で百科事典を使い、調べ学習をした。自分のテーマに必要な事柄を抜き出し、ノートにメモする。子どもたちは、「概要は分かったが、もっと詳しく知りたい。」という思いをもつことができた。

○中央図書館での活動。司書の方に十進分類などについて説明していただき、自分のテーマに沿う本を探す。何冊か読んで、どれがよいか考えている子がたくさんいた。見付けた子から貸出手続き（集団貸出）をして、講堂に上がり、必要なことをメモする。

○集めた情報から報告文を書いて、発表する。



授業の成果と課題

○日常から図書貸出数の多い学年なので、図書館に対する親近感をもっている子が多い。調べ学習も経験していたが、百科事典を使う時間をとってから調べ学習をしたので、学び方のスキルの一つとして身に付けさせることができた。

○中央図書館では、司書の方に的確な説明やアドバイスをいただきながら、「こどもの森」を探索していた。漫然と探すのではなく、本の分類を意識しながら目的の書棚に向かうことができた。子どもはテーマがストレートに題名に表れていると思い探しがちだが、目次や索引を見て探す子もいたのは、事前学習の成果である。

○自分にとってどの本が必要かを、読み比べることで選ぶことができるようになった。目的をもった調べ学習の第一歩となった。

○今後は複数の情報をどう選び、読み取り、活用していくかの力を育成することである。